

職員による自己評価

A環境面

コロナ対応のため、3密を避ける空間づくりに取り組んだ。椅子の位置を離す、使用できる机の数を限定する、マットで活動できる人数を限定するなど。

B児童への支援内容

ソーシャルディスタンスを取れるよう、活動内容や活動人数に配慮した。

C関係機関との連携

コロナのため、学校への訪問は思うようにできない部分があった。保護者の方も学校の様子がわからないとおっしゃる方が多く、課題が残った。オンライン会議での対応ができるといい。

D保護者への説明責任・信頼関係

契約時や、モニタリング面談は密を避けるため、なるべく手短に行えるようにしたり、電話での聞き取りを行ったりして対応した。保護者会はコロナが落ち着いたら再開する。

E非常対応

在宅時支援では、教材提供とそのアドバイスをし、通所再開がスムーズにできるようにサポートした。

前年度の改善事項

- ① 引き続き保護者の連携の機会を作っていく。
→感染防止のため保護者会は実施できなかった。
- ② 関係機関と連携し、支援の質を上げていく。
→連携については今後も課題。資格を取得できた職員が数名おり、質の向上のために努力できた。

保護者による評価

A環境面

・1人1人勉強するスペースがあり、椅子や文房具の配置などが工夫されている。

B児童への支援内容

・子供に合った対応をしてもらっている。
・学校でできなかったところも教えてもらって、本人の安心感や安定につながっている。

C事業所からの情報発信

・サービス提供後に、写真やコメントが見られるので助かっている。
・ブログで教室の様子を見るのを楽しみにしている。
・モニタリングの時など、情報をもらって助かっている。

D非常対応

昨年より「どちらでもない」の数値が数%上がっていた。

事業所内での分析

【相違点】

- ・子供に合った対応をしてもらっている、というお声があったが、驕らずに模索し続けたい。研修を受講したり資格を取得したりするうちに専門知識はついていくが、目の前の子供たちにどう対応したらいいか、何が最善の対応なのかということに正解はないため、「ケース会議」を定期的実施し全職員での検討の場を設けた。そこでは支援が難しいケースや統一しておくべき対応について取り上げ、普段のミーティングよりもきめ細やかな事例検討を行うことができた。
- ・「どちらでもない」の数値がやや高めだった部分。
→苦情対応の体制については契約時に説明、事業所内にも掲示してあるが周知されていない。
→避難訓練は行ってはいるが認知度が低い。(ただ今年度は感染防止のため、縮小しての実施だった)

分析・検討してみた…

事業所の強み

- ・迅速に感染症マニュアルを再整備し、それに基づき対応することができた。3密を避けるための教室内の配置の工夫、消毒の実施、手洗いがい、マスク着用の徹底。また、在宅時支援に関しても、学習支援を継続し続けることで通所再開がスムーズにできるようにサポートを行っている。
- ・今年度は資格取得にチャレンジする職員が5名いた。モチベーションの高い職員がやりがいをもって働ける職場にしていくことも目標。
- ・今年度より、月1回「ケース検討会議」を実施している。

事業所の改善点

- ・全体的に概ね評価は高くはあるが、「どちらでもない」の回答がやや多かった部分を改善点としていく。
- 苦情対応の体制を整備し、適切に対応している：現状は契約時のご説明と、エントランスにマニュアルの掲示を行っている。また、ご要望についても電話や面談等で迅速に対応している。
- 非常災害に備え、定期的に訓練が行われている：年二回以上、実施している。今年度は感染防止のため縮小して行った。

事業所の改善への取り組み

- ・苦情対応の体制については契約時に説明、事業所内にも掲示してあるが周知されていない。
→保護者の方がよく利用する相談室に苦情対応マニュアルを掲示する。
- ・避難訓練は行ってはいるが認知度が低い。
→感染対策をしつつ、安全に訓練を実施できるようにする。また、防災教育、訓練、災害時の対応などブログやHUGのシステムを利用し詳細にお知らせする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度は、新型コロナウイルスの対応に苦慮しました。正解がわからない状況で、何よりも子供たちの安全、職員の安全を守るために、ここまでやってきました。本当に大変な一年でした。だからこそ、教室のサービスに安心していただけているか心配でしたが温かい評価やお言葉をいただき、救われる思いです。精一杯、頑張りますので、今後もよろしくお願い致します。

事業所名 オレンジスクール小岩教室

担当者 管理者・加瀬ひとみ

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

保護者数（児童数）：45名（44名） 回収数：37 割合：84%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	3	0	1人1人勉強するスペースがあり（区切られている）文房具や椅子の置き方も工夫され、真ん中で友達や先生方と遊ぶスペースがあります。	子供たちにとっての過ごしやすさを日々模索し、構造化の取り組みを行っています。また、感染防止のため、ソーシャルディスタンスにも配慮しました。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	4	0	活動の場をじっくり見たことがないので何とも言えない。	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	13	0	設備のバリアフリーに対して十分か不十分かを注意して見ていないのでわからない。	
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	36	1	0	子供に合った、対応を常にして頂けています。	
	⑤	活動プログラムが固定化されないう工夫されているか	32	4	1	・プログラムはある程度固定化されている方が過しやすいと思っています。 ・自由遊びに少し療育の要素があるとありがたいです。	高学年の層が年々高まっているので、提供する活動を合わせていけるようにしていきます。また、遊びを通した療育プログラムの立案を行っています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 10	16	不必要 11	・コロナウイルスの為決められた所での活動が安心。 ・学校でその機会があるので個人的な意見になってしまいますが、学校で障害のない子ども達との交流はあるのでデイサービスでは、苦手な部分のフォローをお願いできたらと思います ・夏休みなどにお散歩などはいかがでしょう。	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	1	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	36	1	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1	0	・モニタリングの時など情報を下さり、助かります。 ・面談の際、いつもアドバイスをしてもらって助かっています。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 13	15	不必要 9	・ご時世的に今は難しいと思いますので先生方のご負担のない程度でたまに保護者会などがあっても嬉しいと思います。 ・コロナが落ち着いたらぜひしてもらいたいです！	コロナが終息しましたら、実施致します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	7	0	・苦情がないのでわからない ・苦情については聞いたことはありませんが、何事も丁寧に対応してまいります。	苦情対応のマニュアルを相談室に掲示しますので、面談の際にご覧ください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	3	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	33	4	0	・活動の様子、写真いつも楽しみにしています。	

	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	2	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	34	3	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	8	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	36	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放デーの曜日はしっかり確認するほど通所を楽しみにしています。 ・自宅ではできない（持っていないゲームなど）遊びが用意してくださっているので、毎回楽しみに通所しています。 ・自分のペースで勉強ができ、遊びの時間の色々と工夫してくださるのでとても楽しみにしています。 	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で理解できなかった所も、オレンジスクールで教えてもらえるということが、本人の安心感や安定に繋がると感じています。個々の特性に合わせた細やかなご指摘に、心より感謝しております。ありがとうございます ・サービス提供記録で本日の様子（写真と記録文書）を見る事ができるので安心して子供をあずける事ができる。 また、勉強もわかるまでしっかりと教えてくださるのでとても満足しています。 ・本人のペースや、気持ちを察して支援して下さり、とても助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、ご回答、ありがとうございました。大変励みになります。今後ともよろしくお願い致します。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ソーシャルディスタンスが取れるよう、目張りや掲示物をしています。	法令を遵守しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			出勤する職員は体温測定を行い、消毒、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底しています。体調不良の職員が出た場合は代わりの先生を立て、適正な配置に整えます。	法令を遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		次に起こり得る危険を予測して、環境設定するようにしています。	入り口に段差があります。トイレが男女共用です。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			常勤のみでの社員会議、非常勤を交えての全体会議とケース会議を毎月実施しています。	とくにC（評価）→A（改善）をより強化していく体制を整えていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				毎年、実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				毎年、HPで公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今年度は社内監査がありました。	「第三者評価機関」の評価は実施していません。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は保護者の方と一緒に研修プログラムに参加したり、オンラインでの学びの機会も持つことができました。	伝達研修も都度行い、参加していない職員も学ぶことができるようにしていきます。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			専門性を高めるため、今年度は4名の指導員が資格を取得しました。	アセスメントスキル、支援の質の向上を目指し、研修の受講や資格の取得を積極的に行っていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門性を高めるため、今年度は4名の指導員が資格を取得しました。	研修での学びを、実践に生かしながらよりきめ細やかな観察の視点を持てるよう努めていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日の打ち合わせに加えて、毎月職員全体での会議を行い、プログラムの検討をしています。	プログラムの立案者である教材準備の担当者や指導者間で学習状況がより細かに伝達し合えるよう、記録の充実を目指します。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。	プログラムが固定されていることが安心につながっているおさまもいらっしゃるのので、ニーズに合わせて対応していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と休日で時間割を決めて活動しています。	とくに休日は長い時間の利用になるので、活動にメリハリをつけていけるようにしていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習は個別活動メインで、遊びを通じた療育は集団の中で表れる課題を目標に設定しています。	集団活動に積極的になれない子も安心して友達と関わっていけるよう、サポートします。

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、ミーティングを行っています。前回の様子を振り返ったり保護者からの連絡を共有したりします。また、学校の先生からその日の様子について引継ぎがあった場合も、その内容を伝達し、柔軟な関わりができるようにします。	学習支援に関する伝達、リスクマネジメントの観点からの伝達など、焦点を絞って打合せできるようにしていきます。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎業務があるため、終了後の打ち合わせはできませんが、記録には気づいた点等を残すようにしています。	送迎業務があるため、終了後の打ち合わせはせずに次の日に行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			hugを利用し、全職員が記録を共有できるようにしています。	次の支援に繋がる記録の書き方を工夫できるようにしていきます。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとに全職員で目標の見直しを行っています。	モニタリングと計画の更新は必ず行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			子供たちの意思を尊重するシーンを作りながら活動を提供しています。	自立支援と日常生活充実のための活動、創作活動、余暇の提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				管理者兼児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年度の初めに学校、すくすくスクールに指導員の顔写真と送迎車の写真をお渡ししています。	学校との情報共有は保護者を通じて行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			対象になる児童はおりません。	対象になる児童はおりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			ご家庭より「就学支援シート」のご提出を必要に応じていただいています。	対象になる児童はおりませんが、新1年生を1学期から受け入れる場合は行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			たとえば卒業という場面にこだわらずとも、教室の努力の成果を担任の先生に伝達できるように資料を作成し情報提供を行いました。	ご希望に応じて引継ぎを行います。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			教育相談室、江戸川区の学務課などに問い合わせさせていただくこともありました。	保護者の方とも相談し、より具体的で実践的な連携体制を作りたいです。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○			前例はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○			参加していません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				hugのマイページを利用し、支援終了後毎回様子をお伝えしています。	面談以外の場でも送迎時やHUGのコメント欄、LINEや電話等でのやりとりも大事にしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				ペアトレ自体は行っていませんが、保護者の方がどんなストレスを抱え、どんな辛さを感じているのかということに、耳を傾ける姿勢を大切にしています。	保護者の方のお気持ちや、これまでの育児の経験を尊重しながら助言を行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				管理者兼児童発達支援管理責任者が説明を行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			モニタリング面談の際にお話をお伺いさせていただいています。それ以外にもご希望があれば電話や面談で相談に応じています。	今後もきめ細やかな情報共有を心掛けます。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			これまでに2度、保護者会を開催しました。	コロナのため実施していません。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情に繋がりがやすい状況を予め想定し、定期的に対応を振り返っていきます。	苦情対応の方法については契約時にご説明することに加え、事務所内に掲示しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				教室の活動の様子や目的をわかりやすく伝えるようにしています。	HPでブログを公開しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○					ロッカー、書庫、事務室は施錠できるようにしています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				少しでも気になる様子は保護者に伝えるようにしています。	今後はzoomのような映像での情報伝達も利用していけるようにします。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			実施していません。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				送迎時の事故、トラブルなどの対応マニュアルについても策定しています。	マニュアルを策定しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				今年度は「3密」を避け、コロナの影響で縮小して実施しました。	夏期、冬期に訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				啓発ポスターを作成し、虐待に該当する行為や通報先を事務室内に掲示しています。	職員が研修に参加できるようにします。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				そもそも身体拘束を行わなくてはいけない状況を作らないよう、環境設定や課題調整し、適切な関わり方を行っています。	どのような場合に身体拘束をする可能性があるのかをご説明し、契約の際に同意書をいただいています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				危機管理についてはマニュアルを一冊にまとめました。	保護者の方より情報をいただき、全職員に共有しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				危機管理についてはマニュアルを一冊にまとめました。	年度ごとに更新して配布しています。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。